



11/13 Hirado City Photo News
税のことをより身近に



11月11日から17日までの「税を考える週間」の一環として、税について学校や自身の経験などを通して学んだことを作文にした、令和元年度「税に関する作文」の表彰式が市役所で開催されました。
国税庁が募集した「高校生の税に関する作文」(平戸市内264点)と、国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が共同で募集した「中学生の税についての作文」(平戸市内273点)の2部門で、高校生4人、中学生6人が表彰を受けました。受賞者の皆さんは、税に対する意識がさらに高まった様子でした。

11/12 Hirado City Photo News
平戸のためにいつもありがとう



勤労感謝の日を前に、愛の園保育所の年長児24人が、市役所を訪れ、市長を表敬訪問しました。
園児たちは「いつも大好きな平戸市のために、お仕事をしてくださりありがとうございます。体に気をつけて頑張ってください」と感謝と労いの言葉と、市長の似顔絵などを贈りました。市長からは「ありがとうございます。みんなからもらった似顔絵は、大切に市長室に飾りますね」と話し、園児たちを市長室に案内しました。園児たちは初めて入る市長室に興味津々の様子でした。

11/10 Hirado City Photo News
きれいな海を楽しく美しく守る



平戸大橋公園で、NPO法人ひらど海てらす主催による「きれいな海を守ろう、楽しく海岸清掃&サンドアート！」が行われました。
地元の美しい海を守りたい、流れ着いたゴミの種類、どうしてここにゴミが集まるのかなど海のことを知りながら楽しくごみ拾いをしようという目的で、今回はじめて開催。午前中は、平戸大橋の周辺の皿川海岸に流れ着いた漂着ごみを、大人から子どもまで一緒になって拾い、午後からは、サンドアートのワークショップを楽しんでいました。

10/26 Hirado City Photo News
年に1度の大大神楽奉納



国指定重要無形民俗文化財「平戸神楽」の全24番を年に1度だけ公開する「大大神楽」が亀岡神社で奉納されました。
平戸神楽は、江戸時代前期、松浦家29代鎮信(天祥)が峇岐出身の国学者である橘三喜に命じ、全国の一ノ宮を巡拝し調査研究を重ね完成させたと伝えられています。
平戸神楽を代表する演目で、真剣3本を使う最も難しいとされる「二剣」では、住民らが息をのみながら見届けました。

11/17 Hirado City Photo News
生月んおごっつおが勢揃い



生月町船員福祉会館で「第4回生月んおごっつお祭りin館浦」が開催されました。
この祭りは、生月地区を盛り上げようと生月地区の山田・館浦まちづくり運営協議会が4年前から開催しています。この日は、生月の食材を使った「およばれ料理」などが振る舞われ、参加者は地元の郷土料理の数々に舌鼓を打っていました。
ステージでは、生月町出身で福岡を拠点に音楽活動をしている松本孝太郎さんらによるライブコンサートも行われ、会場は大変盛り上がりしていました。

11/16 Hirado City Photo News
平戸の秋風を感じながら



九州オルレ平戸コースで「平戸秋風オルレ」が開催されました。
当日は、県内外から115人が参加し、心地よい秋風が吹く中、平戸ザビエル記念教会、オランダ商館など平戸の観光地を通る約13kmのコースを歩きました。
休憩ポイントの川内峠では、特製のお弁当とウチワエビの味噌汁が振る舞われました。参加した人たちは、平戸の歴史、自然、食などの魅力を堪能していました。

11/10 モー吉くんも大忙し



大島支所横広場で、「第30回大島村ふるさとまつり」が開催されました。ステージイベントとして園児によるおゆうぎや小・中学生によるダンスなどのほか、毎年恒例のサザエのつかみ取りやにこまるのすくい取りなども行われました。
また、物産販売では、大島村でとれた新鮮な野菜や海産物、長崎和牛を求める人たちが長蛇の列ができていました。大島村のマスコットキャラクター「モー吉くん」も登場し、一緒に写真撮影をする姿などで、会場は大いににぎわいました。

11/10 プロレスを通して平戸を元気に



平戸文化センターで、NPO法人九州プロレス主催による「平戸ば元気にするバイ!!長崎県平戸市大会」が開催されました。
九州プロレスは、「九州に住む1,300万人に元気を届け、地域への恩を返していきたい」という思いのもと、九州各地でプロレスを通じて社会貢献活動を行っています。この日は、地元の子もたちとプロレス教室を行った後に3試合が行われ、間近で見る大迫力のプロレス技に、集まった約400人の観衆は大きな歓声を上げていました。